

○ レコードの内容及び記録要領(1)【財務諸表】

1 全体構造

項番	項目名	入力文字基準	記録要領																										
1	種別又は階層番号	半角 4文字以内	<p>該当行(該当レコード)の種別又は科目の階層番号を記録してください。(全てのレコードで必ず記録が必要となります。)</p> <p>種別は下記の表に従い記録します。 階層番号は「1」からの連番(半角整数、最大5000まで)としてください。また、以下の規則に従い記録してください。</p> <p>【規則】</p> <p>①上位科目と子科目の階層番号は、連番を記録してください。 ②1つのCSVファイルに対して1~4行目は「A→B→C1→C2」の順に記録してください。 ③1つのCSVファイルに対して複数様式を設定する場合、2様式目以降は「A→1」の順に記録してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>種別</th> <th>意味(種別の意味)</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>A</td> <td>財務諸表種別</td> <td>貸借対照表/損益計算書/株主資本変動計算書、等の種別を表示する。 ※各様式に対して1回、それぞれの先頭行に設定する。 なお、1つのCSVファイルに対して、「SS」「SE」「SR」はいずれか1つのみ設定すること。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>B</td> <td>名称等</td> <td>法人名等を表示する。 ※1つのCSVファイルに対して1回設定する。1ファイルに複数の様式が存在する場合は、先頭の様式に対して1回のみ設定する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>C1</td> <td>事業年度(自)</td> <td>事業年度(自)を表示する。 内容は、YYYY-MM-DD形式とする。 ※1つのCSVファイルに対して1回設定する。1ファイルに複数の様式が存在する場合は、先頭の様式に対して1回のみ設定する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>C2</td> <td>事業年度(至)</td> <td>事業年度(至)を表示する。 内容は、YYYY-MM-DD形式とする。 ※1つのCSVファイルに対して1回設定する。1ファイルに複数の様式が存在する場合は、先頭の様式に対して1回のみ設定する。</td> </tr> </tbody> </table>	項番	種別	意味(種別の意味)	説明	1	A	財務諸表種別	貸借対照表/損益計算書/株主資本変動計算書、等の種別を表示する。 ※各様式に対して1回、それぞれの先頭行に設定する。 なお、1つのCSVファイルに対して、「SS」「SE」「SR」はいずれか1つのみ設定すること。	2	B	名称等	法人名等を表示する。 ※1つのCSVファイルに対して1回設定する。1ファイルに複数の様式が存在する場合は、先頭の様式に対して1回のみ設定する。	3	C1	事業年度(自)	事業年度(自)を表示する。 内容は、YYYY-MM-DD形式とする。 ※1つのCSVファイルに対して1回設定する。1ファイルに複数の様式が存在する場合は、先頭の様式に対して1回のみ設定する。	4	C2	事業年度(至)	事業年度(至)を表示する。 内容は、YYYY-MM-DD形式とする。 ※1つのCSVファイルに対して1回設定する。1ファイルに複数の様式が存在する場合は、先頭の様式に対して1回のみ設定する。						
項番	種別	意味(種別の意味)	説明																										
1	A	財務諸表種別	貸借対照表/損益計算書/株主資本変動計算書、等の種別を表示する。 ※各様式に対して1回、それぞれの先頭行に設定する。 なお、1つのCSVファイルに対して、「SS」「SE」「SR」はいずれか1つのみ設定すること。																										
2	B	名称等	法人名等を表示する。 ※1つのCSVファイルに対して1回設定する。1ファイルに複数の様式が存在する場合は、先頭の様式に対して1回のみ設定する。																										
3	C1	事業年度(自)	事業年度(自)を表示する。 内容は、YYYY-MM-DD形式とする。 ※1つのCSVファイルに対して1回設定する。1ファイルに複数の様式が存在する場合は、先頭の様式に対して1回のみ設定する。																										
4	C2	事業年度(至)	事業年度(至)を表示する。 内容は、YYYY-MM-DD形式とする。 ※1つのCSVファイルに対して1回設定する。1ファイルに複数の様式が存在する場合は、先頭の様式に対して1回のみ設定する。																										
2	項目ID又は科目ID	半角 20文字以内	<p>CSVファイル内で一意となる項目ID(科目ID)を記録してください。(全てのレコードで必ず記録が必要となります。)</p> <p>半角記号で使用可能な文字は、「-」「_」に限られます。 また、種別がAの場合は以下の表のとおり記録してください。 なお、1つのCSVファイルに対して、「SS」「SE」「SR」はいずれか1つのみ記録できます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>種別</th> <th>財務諸表の種別</th> <th>項目ID又は科目IDの設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td rowspan="7">A</td> <td>貸借対照表</td> <td>BS</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>損益計算書</td> <td>PL</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>製造原価報告書</td> <td>SC</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>株主資本等変動等計算書</td> <td>SS</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>社員資本等変動計算書</td> <td>SE</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>個別注記表</td> <td>NT</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>損益金の処分表</td> <td>SR</td> </tr> </tbody> </table>	項番	種別	財務諸表の種別	項目ID又は科目IDの設定値	1	A	貸借対照表	BS	2	損益計算書	PL	3	製造原価報告書	SC	4	株主資本等変動等計算書	SS	5	社員資本等変動計算書	SE	6	個別注記表	NT	7	損益金の処分表	SR
項番	種別	財務諸表の種別	項目ID又は科目IDの設定値																										
1	A	貸借対照表	BS																										
2		損益計算書	PL																										
3		製造原価報告書	SC																										
4		株主資本等変動等計算書	SS																										
5		社員資本等変動計算書	SE																										
6		個別注記表	NT																										
7		損益金の処分表	SR																										
3	項目名又は科目名	全角 -	<p>表示される項目名又は科目名を記録してください。(全てのレコードで必ず記録が必要となります。)</p> <p>科目名については、『【財務諸表】XBRL勘定科目テーブル(税務用タクソノミ).xlsx』内の「CSV変換用勘定科目日本語名称」に該当するものがある場合は、その科目名を記録してください。</p>																										
4	上位科目ID	半角 20文字以内	<p>科目の場合、上位科目の科目IDを以下の規則に従い記録してください。</p> <p>【規則】</p> <p>①階層番号が「1」の場合は、記録できません。 ②「種別又は階層番号」が「A」「B」「C1」又は「C2」の場合は、記録は任意です。 ③上記①②以外は必須で記録してください。</p> <p>なお、CSVファイルの記録においては、上位科目となるレコードが該当科目のレコードよりも上の行に記録されていることが必要です。</p>																										
5	内容又は金額	全角 -	<p>内容又は金額を以下の規則に従い記録してください。</p> <p>【規則】</p> <p>①タイトル項目(※)の場合は、記録できません。 (※)『【財務諸表】XBRL勘定科目テーブル(税務用タクソノミ).xlsx』内の「タイトル項目」列を参照。 例)「貸借対照表 資産の部」、「貸借対照表 資産の部 流動資産」等はタイトル項目であるため値の設定不可。 ②種別がBの場合は、50文字以内の文字列を必ず記録してください。 ③種別がC1、C2の場合は、財務諸表の種別に関わらず、C1とC2の値を必ず記録してください。 ④日付型の値を設定する場合は、半角でYYYY-MM-DDの形式で記録してください。</p>																										
6	要素名	半角 -	<p>独自勘定科目に対応する要素名を、様式内(財務諸表の種別内)で一意となるように記録してください。(e-Tax標準科目の場合は記録できません。)</p> <p>なお、要素名はXML1.0(W3Cで勧告)に準拠したものとしてください。</p>																										
7	型	半角 1文字	<p>独自勘定科目について、以下のいずれかの型を記録してください。(e-Tax標準科目の場合は記録できません。)</p> <p>・金額型勘定科目の場合:「1」 ・金額型勘定科目以外の場合:「2」</p>																										
8	名前空間	半角 -	<p>独自勘定科目に指定する名前空間を記録してください。(e-Tax標準科目の場合は記録できません。)</p> <p>(例)http://www.sample.com なお、名前空間はXML1.0(W3Cで勧告)に準拠したものとしてください。</p>																										

2 利用可能文字

CSVフォーマットに利用可能な文字は、シフトJIS(JIS第1水準及び第2水準)とします。  
 なお、半角文字の「(カンマ)」は各項目の区切り文字で使用しますので、使用しないでください。  
 また、「内容又は金額」の記録として改行コードを利用する場合は、文字列全体を「”(ダブルクォーテーション)」で囲んでください。  
 (改行コードを利用しない場合は、「”(ダブルクォーテーション)」の囲みは不要です。)

○ レコードの内容及び記録要領(1)【財務諸表】

3 CSVフォーマット作成例

貸借対照表と損益計算書(2つ以上の様式を作成する場合)

種別または期番号	項目名または科目ID	項目名または科目名	上位科目ID	内容または金額	要素名	型	名前空間
A	BS	財務諸表種別					
B	BS-NAME	名称等		サンプル株式会社			
C1	BS-FROM	事業年度(自)		2014-04-01			
C2	BS-TO	事業年度(至)		2015-03-31			
1	BS-1	資産の部					
2	BS-1.1	流動資産	BS-1				
2	BS-1.2	固定資産	BS-1				
3	BS-1.2.1	有形固定資産	BS-1.2				
4	BS-1.2.1.1	科目1	BS-1.2.1	200000	kamoku1	1	http://www.sample.com
4	BS-1.2.1.2	科目2	BS-1.2.1	150000			
4	BS-1.2.1.3	科目3	BS-1.2.1	50000			
5	BS-1.2.1.4	科目4	BS-1.2.1.3	科目3の詳細1	kamoku4	2	http://www.sample.com
3	BS-1.2.2	無形固定資産	BS-1.2				
4	BS-1.2.2.1	科目1	BS-1.2.2	150000			
4	BS-1.2.2.2	科目2	BS-1.2.2	100000			
4	BS-1.2.2.3	科目3	BS-1.2.2	50000			
A	PL	財務諸表種別					
1	PL-1	売上振替					
2	PL-1.1	科目1	PL-1	500000			
2	PL-1.2	科目2	PL-1	200000			
2	PL-1.3	科目3	PL-1	200000			
2	PL-1.4	科目4	PL-1	80000			
2	PL-1.5	科目5	PL-1	20000			
1	PL-2	売上振替					
2	PL-2.1	科目1	PL-2	600000			
2	PL-2.2	科目2	PL-2	100000			
2	PL-2.3	科目3	PL-2	50000			
2	PL-2.4	科目4	PL-2	30000			
2	PL-2.5	科目5	PL-2	20000			
1	PL-3	売上総利益		200000			

1番目以降の様式の先頭行に「A」を設定する。

1番目の様式で、「B」「C1」「C2」の順に設定する。

2番目以降の様式の先頭行に「A」を設定する。

2番目以降の様式は、「B」「C1」「C2」を設定しない。